

令和2年度 第21回県政参画電子アンケート
「とリアート（鳥取県総合芸術文化祭）の見直し」に関するアンケート結果概要

1 調査概要

- テーマ 「とリアート(鳥取県総合芸術文化祭)の見直し」に関するアンケート
- 実施期間 令和3年3月19日～3月29日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 716名
- 回答数 408名(回答率 57.0%)

2 目的・概要

「とリアート(鳥取県総合芸術文化祭)」(以下、「とリアート」という。)は、県民誰もが文化芸術に理解と親しみを持ち、自ら取り組むことで、心豊かで満ち足りた生活を送ることができるようになることを目指し、平成14年に開催された「国民文化祭」(※)を継承・発展させるため、「県民みんなで作る総合的な文化・芸術の祭典」として、平成15年から県内各地で実施しています。(「資料1(1)(2)」参照)

これまで、平成23年に県政参画電子アンケートにて会員の皆さまの御意見を伺い、「とリアート」の事業見直しを行いました。その後9年が経過し、この間に文化芸術を取り巻く環境が大きく変化していることから、より充実した事業の実施のため今回改めてアンケートを実施しました。

(※)国民文化祭とは、昭和61年度から毎年各県持ち回りで開催されている、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の各分野における施策と連携しつつ、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典であり、各種芸術、生活文化等の活動を全国規模で発表、共演、交流する場を提供し文化の継承、発展及び創造に寄与するものです。

「とリアート（鳥取県総合芸術文化祭）」とは



「とリアート」は、平成14年に開催された国民文化祭の精神を継承、発展させるため、平成15年から毎年開催しています。「県民みんなで作る総合的な文化・芸術の祭典」として舞台や作品の展示、気軽にアートを体験できるワークショップ(※)などを通じ、新しい文化芸術の創造を目指しています。(※)ワークショップ：参加者の主体性を重視した体験型の講座、グループ学習、研究会等のごと

最近の事業紹介

<メイン事業>

県内文化芸術の質の向上を図るとともに、県民が主体となって創造的な舞台作品等を制作・上演しています。



2019年メイン事業チラシ



- 日程：2019年11月2(土)、3日(日)
- 場所：とりぎん文化会館 梨花ホール
- 内容：宮沢賢治作「銀河鉄道の夜」を題材にした移動型音楽劇。銀河に見立てた会場内を出演者と観客が一緒に移動し、「銀河鉄道の夜」のシーンを共有体験する劇。
- 出演：公募により選ばれた出演者、門限ズ、鳥取市交響楽団、鳥取市少年少女合唱団等

<各地区事業>

東部・中部・西部地区それぞれ地域の特色を活かしながら、誰もが気軽に文化芸術に触れられる機会の充実を目指しています。

【東部地区事業】



2020東部地区事業

- 日程：2020年11月28日(土)、29日(日)
- 場所：とりぎん文化会館
- 内容：若き演奏家による「鳥取の星コンサート」、フェルトケーキ作り・指で描くパステルアート等ワークショップ、さわれる木のおもちゃ展示、地元活動団体によるダンス、弦楽や尺八、バンド等の演奏等のステージイベント

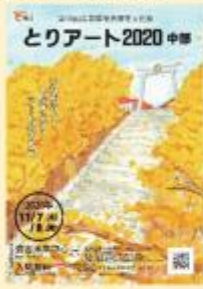


我龍天晴(がりょうてんせい)とおどり屋笑馳(わったい)のコラボ演技

「とりアート（鳥取県総合芸術文化祭）」とは

<各地区事業>

【中部地区事業】



2020中部チラシ

- 日程：2020年11月7日(土)、8日(日)
- 場所：倉吉未来中心
- 内容：地元団体によるダンス、芝居、合唱、バンド演奏等のステージイベント、幼児・児童の絵画コンクール展示、ハンドメイドのワークショップなど



中部少年少女合唱団MIRAIの合唱の様子

【西部地区事業】



2020西部チラシ

【PART1】

- 日程：2020年12月5日(土)~9日(水)
- 場所：ホープタウン
- 内容：鳥の帽子「デコイ帽」を作るワークショップ

【PART2】

- 日程：2021年2月23日(火・祝)
- 場所：米子水鳥公園
- 内容：画用紙にペイントし立体の鳥を作るワークショップ

【PART3】

- 日程：2021年3月5日(金)~9日(火)
- 場所：米子市美術館
- 内容：地元で活躍するアーティストによる「鳥」をテーマにした、絵画作品、木彫作品の展覧会

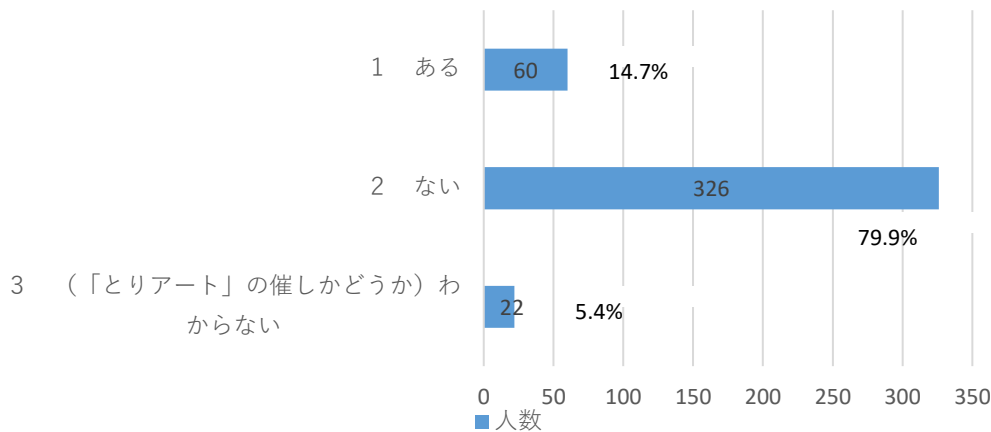


新聞紙で作る「鳥の帽子・デコイ帽」ワークショップ

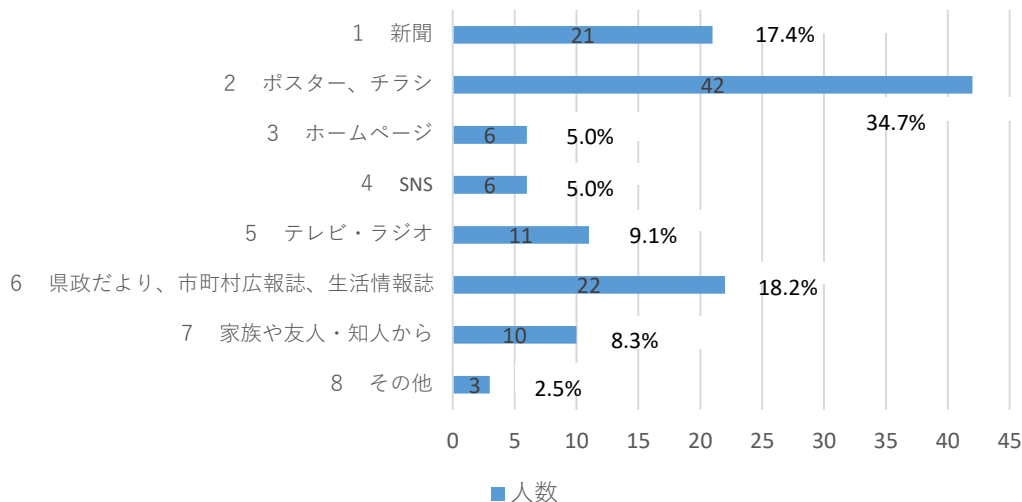
<その他事業>

これからの県内文化芸術を担う人材を育成する「アートマネジメント研修」や「とりアート」をより多くの方に知っていただくため情報誌「とりアート通信」の発行などを行っています。

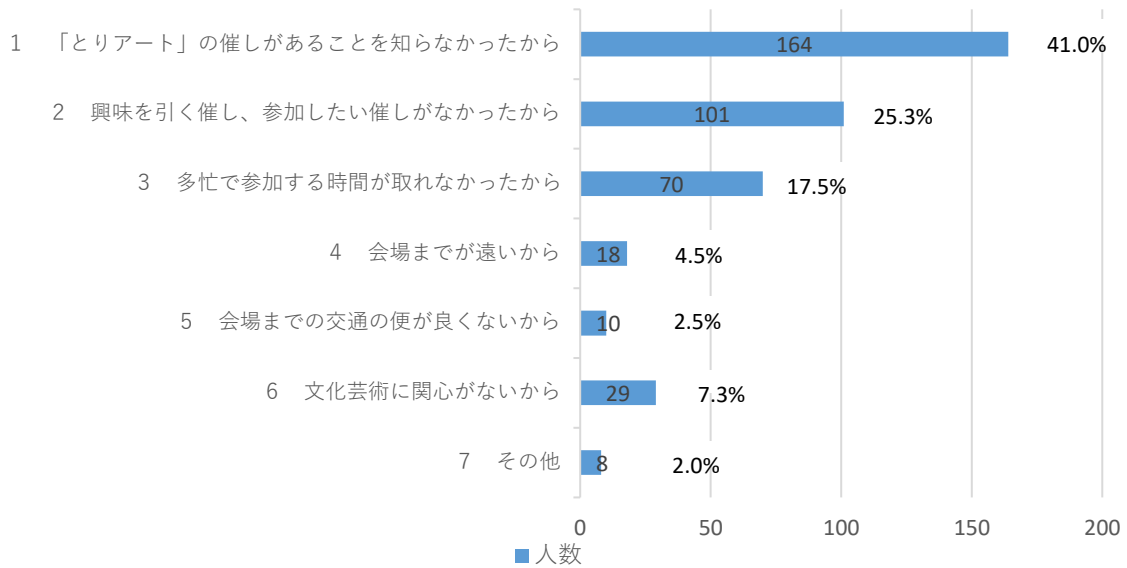
【問1】あなたは、これまで「とりアート」の催しに参加したことがありますか。(1つだけ選択)



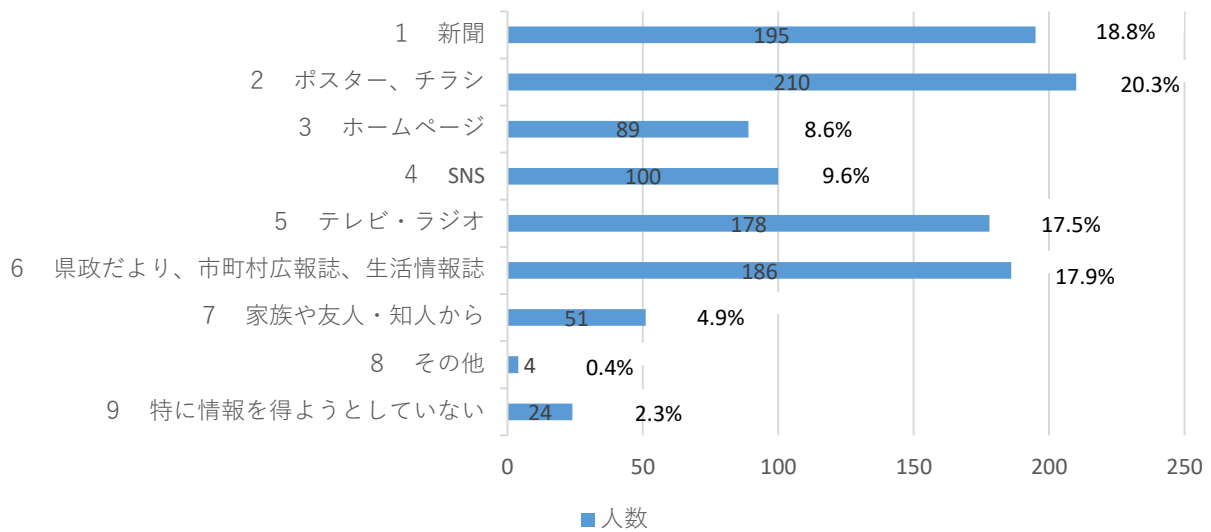
【問2】問1で「1 ある」を選択された方に伺います。あなたは、参加した「とりアート」の催しについて、どのようにして知りましたか。(複数回答可)



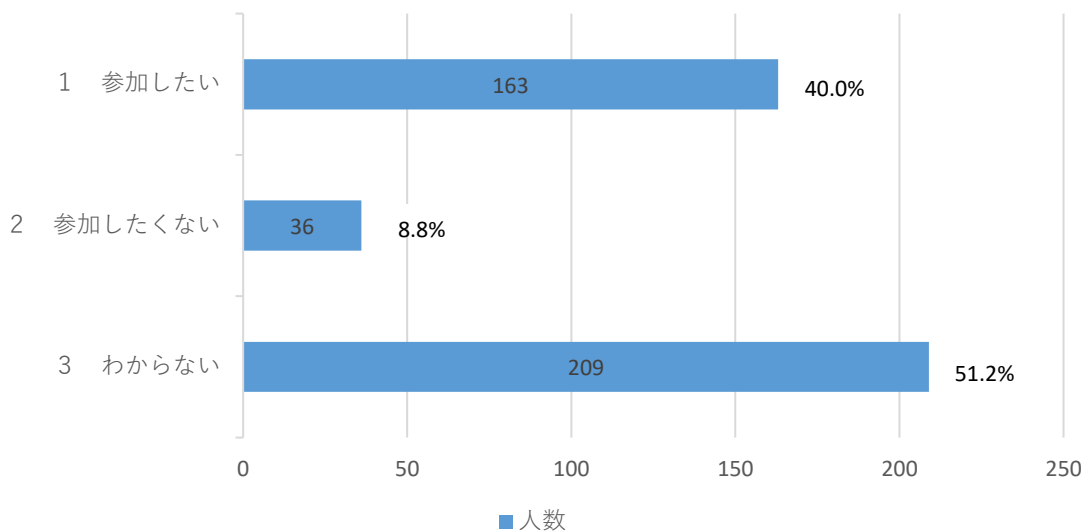
【問3】問1で「2 ない」を選択された方に伺います。あなたは、「とりアート」の催しに参加したことがない理由はなんですか。(複数回答可)



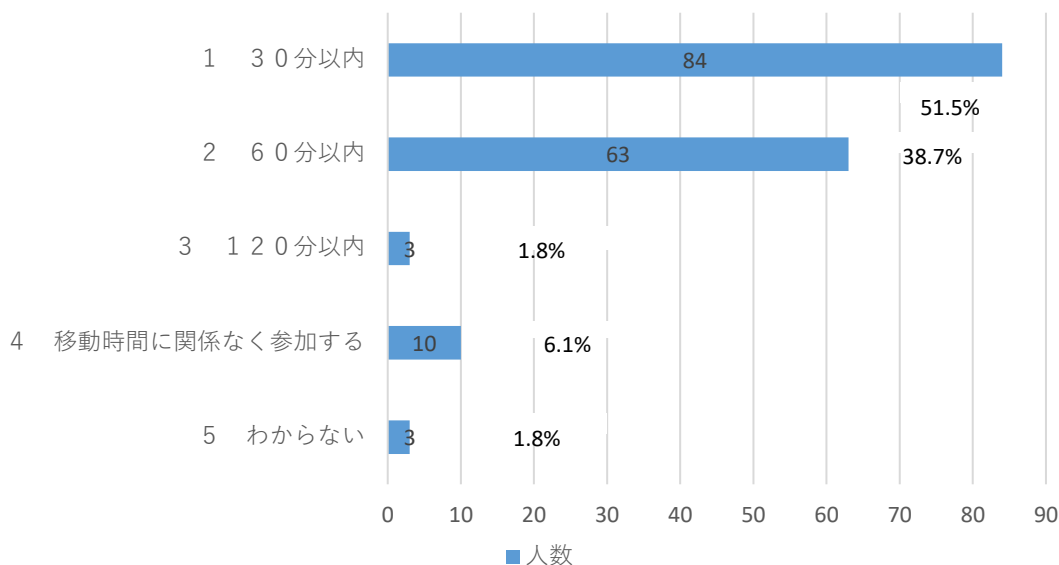
【問4】あなたは、普段、文化芸術に関する情報をどのような方法で得ていますか。(複数回答可)



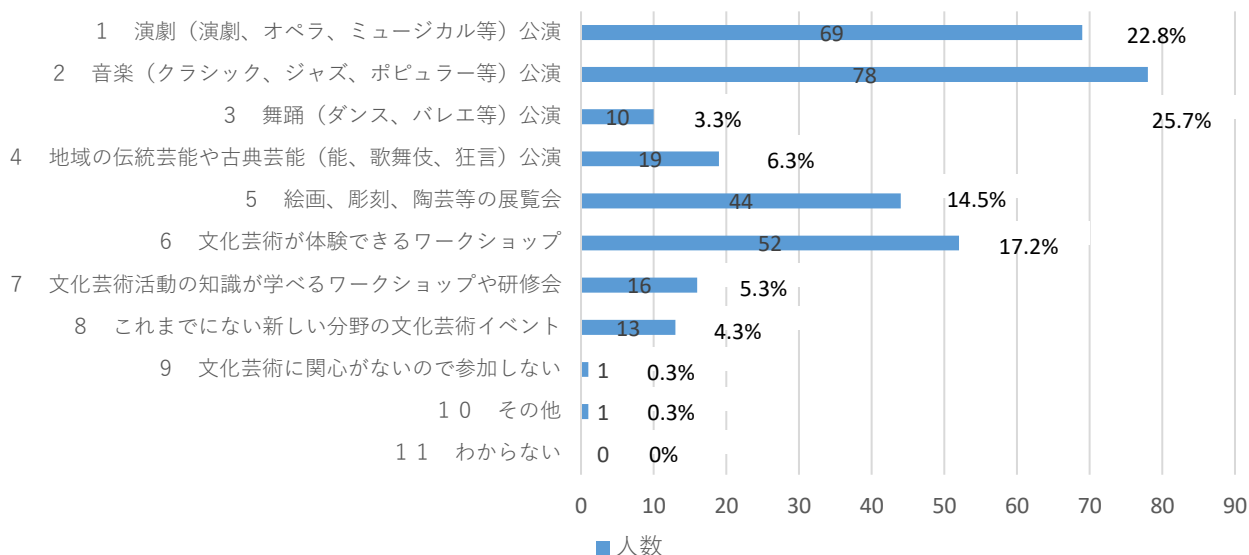
【問5】あなたは、今後開催される「とリアート」の催しに参加したいと思いますか。(1つだけ選択)



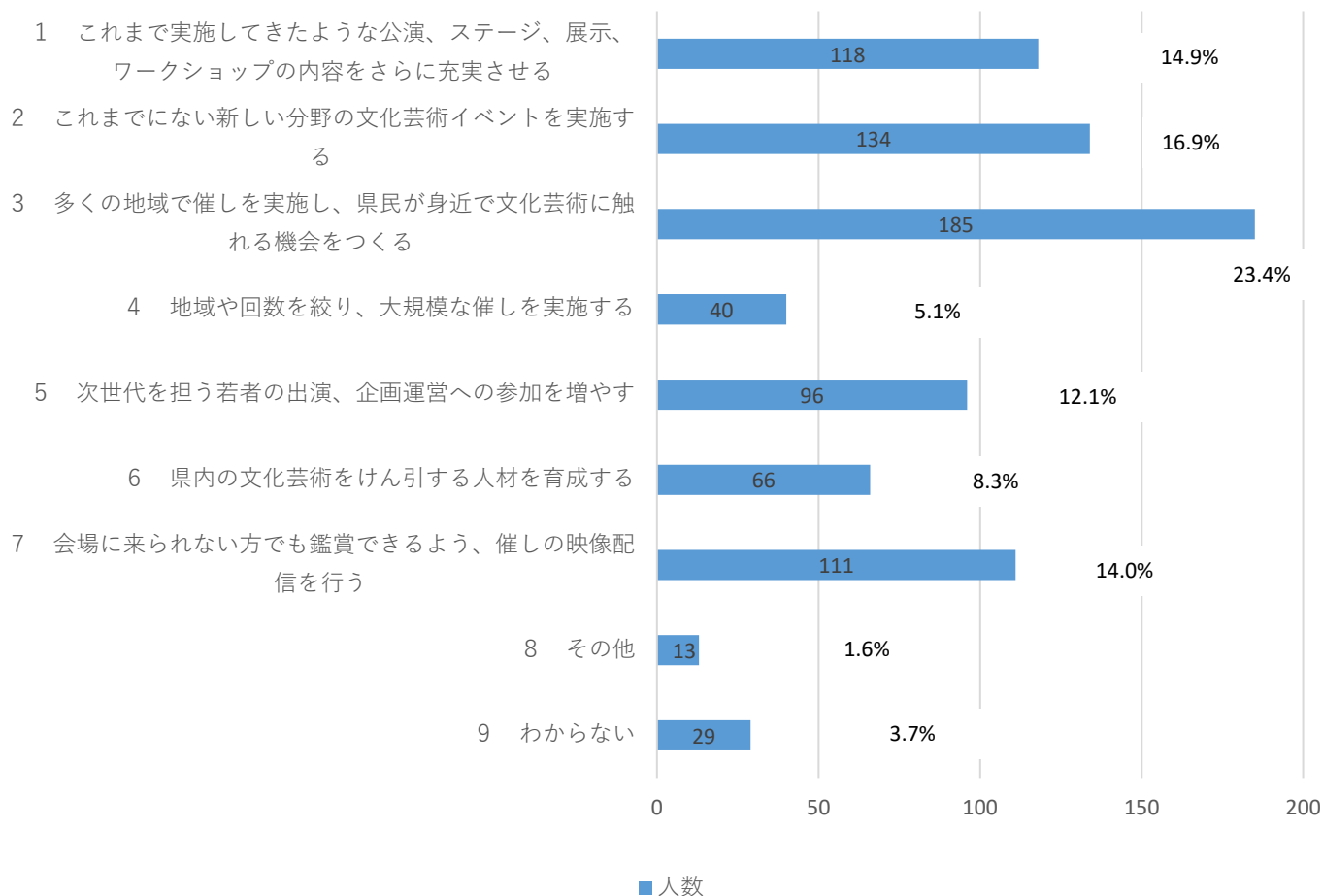
【問6】問5で「1 参加したい」を選択された方へ伺います。あなたが文化芸術の催しに参加しようとした際、会場までの片道の移動時間がどのくらいまでであれば実際に参加すると思いますか。(1つだけ選択)



【問7】問5で「1 参加したい」を選択された方へ伺います。あなたは、どのような分野の文化芸術の催しに参加したいですか。(2つまで選択可)



【問8】あなたが今後の「とりアート」に期待することはどのようなことですか。(複数選択可)



【問9】「とりアート」をより魅力あるものにしていくため、あなたが考える工夫やアイデア等があれば、自由に記載してください。

○土日祝日がメインになっているので、平日でも参加できるようにしてほしい。

○障害のある人のアートに力を入れてほしい。

○未就学児や保育園児でもできる体験型のイベントや催しを期待します。またはミュージカルやコンサートなど。母親や父親一人で子どもを連れていても「これなら行けるかも」と思える環境を整えて欲しいです。

○コロナがいつ終息するのかわからない状況のなかで、会場に出向かないでも鑑賞できる映像配信は、是非ともすべきではないでしょうか。そして、鳥取の文化人の作品なども周知するいい機会なので、作品展や講演会など、年代問わず幅広く楽しめる企画をしてほしいと思います。

など